

学校評価(共通項目)評価書

朝霞市立朝霞第四小学校

柱	No	評価項目	自己評価	自己評価の説明及び学校の考え	関係者評価	学校関係者評価者の改善策等
学校の組織運営	1	学校は、学校教育目標達成に向けて、全教職員で組織的に取り組んでいる。	A	本校職員は、児童理解に努め、信頼関係の構築を重視したうえで学習指導を進めている。また、知・徳・体のバランスの取れた児童の育成に努めている。今後も継続していく。	A	隣のクラスの子の動きにも気配りをされているのを目にしたとき、学年横の連携が重要なキーワードであり、2クラスに1人のサポーターがほしい。
	2	学校は、安全・安心に配慮し、危機管理体制を整えている。	B	防災設備や空調などの設備が老朽化し連続し不具合を起こした。修理までの対応に苦慮したが、最大限早期に解決できるように努めた。いかなる事故防止については、職員の意識の向上している。継続し、指導をしていく。	A	・日常的に防災、防犯、事故防止について取り組まれていることと評価した。地域への発信もできている。 ・火災報知機の誤作動については早急に修繕してほしい。正しく作動するという共通認識が万が一有事の際に大切だと思う。
基礎学力の定着	3	児童生徒は、教職員の指導により、基礎学力を身に付けている。	B	研究発表会を通じて全体で授業改善を図られた。児童理解・信頼関係の構築が学習指導への効果につながる。担任のスキル向上のため、学年間や教科間での指導技術の共有が必要である。	B	・算数授業少人数制をとっていたり、補助の先生が多く入ってくださる方が子供の成績はよい気がします。 ・研究発表会から、学習指導の工夫による成果があった。
	4	学校は、学力向上をめざし、児童生徒の実態に基づいて授業改善に努めている。	B	タブレット端末の活用については、今後さらに進める必要がある。とくにすらら、ロイノートの効果的活用を推進していく。	B	・タブレット端末の活用面だけでなく、子供の興味や意欲、個に応じた指導について保護者の肯定的評価が70%台であること。家庭との連携も含め、地道な取組が必要。 ・教科担任制はメリハリがたりたり先生の負担が少なくスキルも上がるなどよいことが多いので続けてほしい。
規律ある態度の育成	5	児童生徒は、生活のルールに基づき、発達段階に応じた「規律ある態度」を身に付けている。	B	児童はよく挨拶できているとの評価が多い。「健康的な生活」とも関連することから、保健指導、食育の領域からも規律ある態度を目指している。	A	・読み聞かせを数回やらせていただいた。なかよしさんも含め聞く態度がすばらしいと思う。 ・高学年になるにつれて、タブレットやスマホの使用が多くなるので、人間関係のトラブルなどが起きないように指導の場を繰り返し設けてほしい。
	6	学校は、児童生徒の実態把握に基づき、規律ある態度の指導の工夫・改善に努めている。	A	規律を正すには、その子供の実態を十分に把握し、個に応じた対応が必要である。	A	・児童のアンケートから先生を心から接している様子がうかがえる。
健康・体力向上	7	児童生徒は、体育の授業や運動部活動、外遊び等の運動に意欲的に取り組んでいる。	A	前年度に比べ、子供たちが外で遊ぶ姿が多くみられるようになった。今後も体を動かすことが好きな子供の育成に努める。本年度から体力向上の取組「びよんびよんタイム」を定期的に行っている。次年度、体力テストの結果により効果の検証が明らかになる。	A	・運動会を参観したが、かけ声や応援で児童がはつらつとして見えた。団結することを楽しんでいるように見えた。 ・児童がスポーツを楽しんでいることが分かった。日程、内容が丁度よいので、集中力が続いたと思う。
	8	学校は、児童生徒の体力を高めるため、意図的に向上策を講じている。	B	体育主任、体力向上主任を中心に対策を考え対応している。この動きを全体に広げていく。行事を削減していく中で、取組の質が問われる。PDCAサイクルによって評価・改善を繰り返す。	B	・持久走のような行事があると子供も目標を持って取り組めるのでは。また、大なわの記録など保護者に共有してくださるとうれしいです。 ・用事で学校を訪問した際、休み時間に教師と一緒に遊ぼう姿を見てほほえましく思った。
連携	9	学校は、保護者や地域と連携し、その教育力を学力や体力の向上に生かしている。	B	地域に開かれた学校づくりを目指しているが、教職員・保護者の負担とのバランスを図っている。保護者や地域の方が学校教育活動に参加したり協力したりする機会が少ないことは確かである。	B	・学校運営協議会での議論は活発であるが、学校評価(1年の振り返り)としての資料が十分でない。 ・地域として関わっている私目線だと四小のいところを多く知っているが、それを地域の人たちが共有しているかという点、まだまだである。どうアピールしていくか考える必要がある。 ・来年度はぜひ環境を整えて音楽朝会を保護者が参観できるようにしてほしい。 ・よつばの会の活動が最小限になっているので仕方がないが、学校行事に保護者参加できる機会があるとよい。
	10	保護者や地域は、学校と協力し合い、児童生徒の安全指導・健全育成を推進している。	A	学校に寄せる様々な意見があると、学校と保護者が子供を真ん中に据えて指導できる体制を継続する。	B	・町内会をはじめとして、地域の方から十分な協力をいただいている。また、PTA活動を見直しよつばの会として今の時代に合った活動のあり方をすすめられていることも評価した。 ・来年度はふれあい推進事業の幹事校なので、保護者や地域の皆さんがうまく触れ合える機会になればよい。

注:「自己評価」及び「関係者評価」の欄はA～Dで記入

Aは4点、Bは3点、Cは2点、Dは1点で換算した平均値から、A:3.4以上、B:2.6以上、C:2.0以上、D:2.0未満